

## 大竹さんの勝利で青森から全国に民主主義を広げましょう

大竹さんの知事選勝利のために奮闘しているみなさまへ。民主党参議院議員の、というよりオウム問題に取り組んできたといったほうがわかりいただけると思われる有田芳生（ありたよしふ）です。本来ならそちらに伺い、みなさまに直接おねがいすべきところですが、国会審議が続いているため、こうした形でメッセージを送らせていただきます。

大竹さんとの出会いは2007年11月ですから、7年ほど前のことです。青森市で行われた後期高齢者医療制度に反対する集会でごいっしょしました。整形外科医の立場から、幅広く日本の課題を捉える大竹さんの視野に深く共感したものです。人々と接する現場を持つ専門家の視点はきわめて具体的です。知事選挙に立候補した大竹さんは、その基本に立って、人間が人間らしく暮らすことができる方向性を鮮やかに指し示しています。

国会では戦後日本の基本的立場を危険な方向に変更する安保法制が議論されています。その特徴は干からびた概念＝言葉を現実に押し込める手法です。しかし、わたしたちが日々暮らしている日常は、多様性に充ちた豊かなものです。日本の平和でも原発でも、その問題を曖昧にする政治はまやかしです。大竹さんの政策と立場はきわめて鮮明で、すでにして知事に必要な資質を充分お持ちです。あとは当選に必要な支持を広げていくだけです。大竹さんを知事にと願うみなさん。残された時間のなかで、投開票日に喜びをわかちあえるだけの支持を、確実に広げてくださるよう心からお願い申し上げます。

必勝、大竹進候補！民主主義の息吹を青森から全国に広げていきましょう。  
(以上)

参議院議員 有田 芳生（よしふ）